

学生も
大学も
地域も、
いっしょに育つ。

STUDENT FARM

「近江楽座」= 学生らしさを活かして、地域に学び、育ち、貢献できる場

「近江楽座（おうみらくざ）」とは？
滋賀県立大学の「スチューデントファーム「近江楽座」—まち・むら・くらしふれあい工舎—」は、地域貢献を目的とする学生主体のプロジェクトを募集、選定して、全学的に支援する教育プログラムです。平成16年度に文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）」に採択され、平成18年度までの3年間の活動実績が大学発地域貢献の先進的な取り組みとして、学内外で高く評価されました。そして、翌平成19年度からは大学独自の予算を用いてプログラムを継続し、これまでに培ってきたノウハウや地域とのつながりを活かし、さらなる活動を展開しています。

教育効果を高め、大学と地域の連携を深めるための3つの目標

- 地域の課題に大学・学生が取り組み、地域の活性化に向けて共に活動する。
- 学生が地域の方々と一緒に活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する。
- 大学と地域が共同して、よりよい地域づくり・人づくりにつながるしくみをつくる。

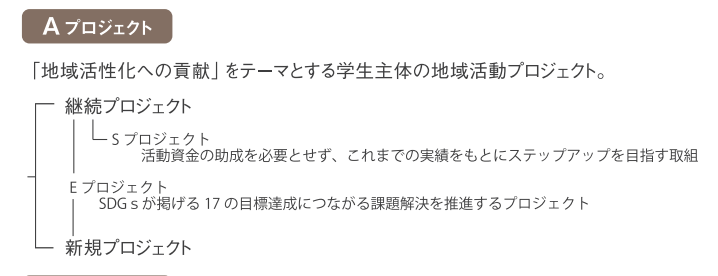
3つのサポートシステム

近江楽座専門委員会・学生委員会・近江楽座事務局（地域共生センター）の連携の下、3つのサポートシステムにより、全学的に活動を推進しています。

- **活動助成システム**
“スチューデントファーム「近江楽座」”として選定されたプロジェクトの事業計画に基づき、活動に必要な事業費を審査し、助成します。
- **コンサルティングシステム**
教員の指導・助言に加え、行政や専門家の紹介など、学生がプロジェクトを進めていくために必要なコンサルティングを行います。
- **地域「知」のリソースシステム**
大学と地域連携に係わる情報を他大学、研究機関、行政、NPO団体などと共有化・活用するためのデータベースを構築し、活動をサポートします。

プロジェクトタイプ

- **A プロジェクト（学生主体型プロジェクト）**
「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動を募集します。昨年度までの継続活動を対象とした①「継続プロジェクト」、新規活動を対象とした②「新規プロジェクト」、新たに③「Eプロジェクト」SDGsと深く関わり、自分たちの取組を学校や地域等に普及することに力を入れているもの、さらに④「Sプロジェクト」これまでの実績をもとにステップアップをめざすプロジェクトで、活動資金の助成を必要としないもの、の4つの区分で募集し、支援するプロジェクトを選定しています。
- **B プロジェクト（地域協働型プロジェクト）**
自治体や企業、団体等から依頼のあった課題の中で、学生が中心になって取り組むのがふさわしいものについて、学生主体のグループを募集し、指導教員、地域共生センターおよび依頼先とが協働でプロジェクトに取り組みます。現在、「県営開出今団地コミュニティ再生プロジェクト」（H28～）に取り組んでいます。



MANAGEMENT CYCLE



近江楽座を経験し、地域へのまなざしを持つことで
学生もプロジェクトも次のステップへ。
そして、次へつながる新たな“種”が生まれる。

— VOICE / 先輩の声 —

やりたいことを思いっきりやって、思いっきり失敗してください！

曾我部 共生（滋賀県庁）
滋賀県大 BASSER(2011-2013)

私は近江楽座ではやりたいことしかしていませんでした（笑）。団体を作ったのも、知的好奇心の思うまま、琵琶湖という特別なフィールドを生かした活動をしたいと思ったからです。しかしその過程で得た能力は、働き出してすぐに発揮できました。失敗もしました。自分のイメージする企画と相手のそれが違っていて、自分の調整不足に反省しました。その経験は今でも生かされています。思いっきりできるのは学生の特権ですし、失敗も糧になります。学生のうちに、やりたいことを思いっきりやってください！

私にとって、とよさらだは農業の厳しさを学んだ場所。野菜作りへの興味が活動を始めたきっかけですが、実際やるの大変なものです。活動を通し、頭で考えるだけではわからないことを学びました。プロジェクトを進めるためには、何より「好き」という気持ちが大切です。近江楽座の活動は大変なことも山とありますが、授業、バイト、サークルとも違う経験を積むことができます。この経験はその先もプラスとなるので、頑張って活動を続けていってください。

森愛鐘さん（有限会社社竹世堂）
とよさらだプロジェクト（2009）
くつきチーム（2008）

続けること。近江楽座での経験はその先もプラスとなります。

SCHEDULE 2018-2019

- 4月 / April**
新入生オリエンテーション (4/6)
応募説明会 (4/13)
2017 年度活動報告会 (4/21)
合同説明会 (4/19-4/20)
2018 年度プロジェクト学内公募 (4/13-5/7)
- 5月 / May**
2018 年度公開プレゼンテーション・審査会 (5/19)
2018 年度採択プロジェクト発表 (5/24)
- 6月 / June**
プロジェクト活動開始 (6/1)
活動説明会 (6/1)
湖風夏祭 (6/16)
リーフレット作成
「おうみらくざプロジェクトレポート」発行開始
- 7月 / July**
滋賀県立大学オープンキャンパス (7/21-7/22)
スキルアップ講座
- 10月 / October**
スキルアップ講座
- 11月 / November**
2018 年度中間報告会
湖風祭 (11/17-11/18)
- 3月 / March**
活動実績報告
- 4月 / April**
2018 年度活動報告会

ウェブサイトの情報が充実！

各プロジェクトについてはもちろん、楽座人物図鑑や楽座文庫などのコンテンツがありさらに検索機能ができました。過去のプロジェクトについても知る事ができます。

プロジェクトレポート発行中！

事務局スタッフが実際に取材、プロジェクトの生の様子を伝えて行きます。レポートは近江楽座のウェブサイトか、学内の掲示板でチェック！

近江楽座でスキルアップ！

楽座に関わる学生や地域活動に興味のある人を対象にセミナーを開催。講師には学内外から幅広い分野の方々をお招きします。

ぞろぞろ会でチーム間の交流も！

楽座っ子同士の交流会「ぞろぞろ会」の企画も行っているミィ！他のチームの学生と交流できるチャンス！みんな集まれー！！

PROFILE

近江楽座学生委員会
近江楽座をさらに推進していくことを目的にプロジェクトチームの代表経験者が中心となり、2006 年度に結成された組織です。チーム間の交流・連携を目的として、交流会の開催や活動紹介冊子の作成など、学生ならではの視点で近江楽座をサポートしています。学生たちが学部や学科、プロジェクトの枠を超えて活動の輪を広げ、地域活性化に貢献するためのネットワークを形成していくことを目指しています。

近江楽座専門委員会
滋賀県立大学の社会貢献活動の高度化・活性化を測る、地域共生センター運営委員会の一専門委員会であり、近江楽座のプログラムにおける企画・運営、プロジェクトの公募・審査、広報や学外交流などの議案を審議し、募集全般を推進することを目的とした教員による組織です。メンバーは各プロジェクトの指導教員だけでなく、それ以外の教員も含めた全学的な構成となっており、より広い視野で学生全体の地域貢献活動をサポートしています。

近江楽座事務局
近江楽座専門委員会の実務を担い、プロジェクトの募集や活動助成、予算の執行管理、活動成果まとめ、報告会の企画・実務等を行うとともに、チームの活動に対する指導や助言を行っています。また、取材や視察、協力要請と行った外部からの問い合わせ窓口や活動紹介印刷物の発行やホームページの運営を行い、広報・発信面でのサポートを行っています。

